

○事業所名	地域療育センターあおば 児童発達支援事業所（こども支援室）		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日		2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日		2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんの個々の課題やニーズに沿った個別支援計画の立案と、それを保護者とも共有した上で、支援が提供できていると思われまます。	ごまめに職員間での情報共有や検討の時間を取り、お子さんの特性把握やそれに基づいたプログラムの立案・提供を行っています。	より包括的な支援が提供できるよう、今年度新たにこども支援庁より示された5領域についての理解を深め、それらを踏まえたプログラム開発ができるよう、職員の研鑽の時間を確保していきたいと思ひます。
2	保護者の相談ニーズを把握し、日々の子育てや家庭生活、地域生活への支援にも注力できていると思われまます。	保護者の相談ニーズを把握できるよう連絡ノートを活用しています。また、モニタリングや定期面談以外にも、必要に応じて臨時面談を行うなど、出来る限り臨機応変に対応しています。	保護者の潜在的な相談ニーズも取りこぼすことなく把握する方法や、保護者から相談していただきやすいきっかけや枠組みの工夫について検討していきたいと思ひます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「保護者評価」の問11や「事業者評価」の問28、44にみられるように、地域に開かれた事業運営や、地域社会との交流の機会を設定できていないことが課題であると思われまます。	週1日2時間、年間41回という限られた療育提供時間の中で、提供したいと考える支援プログラムの優先順位をどのように考えていかや、各クラスの交流を叶える日程の確保の難しさがあります。	事業所単体としてだけでなく、センター全体の取り組みとしても、地域との関係・連携をどのように構築していくかを検討していく必要があると考えていきたいと思ひます。
2	「保護者評価」の問18や「事業者評価」の問39にみられるように、保護者会やきょうだいいち支援の機会を十分に設定できていないことが課題であると思われまます。	保護者会については、個々のクラスでの懇談は行っていますが、事業所全体となると就労世帯も多く、設定の難しさがあります。きょうだいいち支援については、保護者からご相談があった際には適宜対応していますが、きょうだいいちさんご本人への直接的な支援の機会となると、年齢帯も様々であるため設定の難しさがあります。	保護者会については、どのような形が現実的且つ保護者の皆様にとっても参加しやすいかについて、検討が必要であると思ひます。 きょうだいいち支援については、引き続き個々のご家庭状況に合わせて臨機応変に対応していくと共に、その点について、ご家族への周知を十分に行いたいと思ひます。
3	「保護者評価」の問23、24、26や「事業者評価」の問45、49、50にみられるように、非常時対応に関する情報共有の徹底が十分とは言えないことが課題であると思われまます。	お子さん参加の避難訓練については、現状年1回の設定であり、欠席した場合の補償がされていませんでした。限られた療育提供時間の中で非常時の事柄にどの程度時間を確保するかという優先順位の難しさがあります。非常時対応については、保護者に年度当初お伝えしていますが、周知徹底されているかについての確認が不十分であったと思われまます。	お子さんが災害時の対処行動を身につけていけるようプログラムも含めて再検討するとともに、職員のみで行う避難訓練についても、様々な状況を想定した内容で実施して、有事に備えていきたいと思ひます。保護者の方への情報提供については、定期的な発信、掲示等の工夫を行い、情報がより周知されるよう検討していきたいと思ひます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		地域療育センターあおば こども支援室				公表日	2025年 3月 21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	・運動活動をやる際は狭いので、机を廊下に出すなどの工夫をしている。	・構造化のために部屋をパーテーションで仕切っているが、その分活動スペースが限定されている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・多動衝動駆動性の高い児童が複数いる場合は、担任以外の職員が入る対応をしている	・個別対応が必要な利用児がいる場合や職員の欠勤等により休室を余儀なくされる場合があることを考えると、担任が3名以上の体制が望ましいと感じることがある。児童発達支援センターのようにボランティアスタッフの導入も検討しても良いのではと感じる ・担任2名でクラス運営をしてくためには、もう少し構造化の工夫を計画的に取り入れられると良い		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・お子さんの状態に合わせて個別スケジュールやグッズを使用したり、スペースを用意したりしている			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	・個別スペースを使ったり、廊下での参加や自席と異なる場所からの参加など、個々に合わせて対応している			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	・目標チャレンジによる人事考課は全員が取り組み、定期的に面談が実施されている ・各行事等の目的の共有や、実施後の振り返りをミーティングで行っている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・ミーティングで意見を聞く場を設けている	・年に1回職員対象の事業所自己評価アンケートを実施しており、職員の意見が把握できるようになっているが、その意見が実際に反映されるかどうかは不明な点がある		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	・5年に1回第三者評価を受けている ・年に1回保護者対象に事業所評価アンケートを実施している			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・法人内で研修は実施しており、テーマもアンケートを参考にしてもらっている	・外部研修を申し込むことはできるが、予算の関係で必ずしも職員の希望が通るとは限らない		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	・お子さん一人一人やクラス全体の状態を担当、児発管、室長と確認した上で、課題設定を考慮したプログラムが作成されている			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	1	・お子さんやその保護者のニーズについて聞き取りを実施し、計画書に反映している ・クラスごとに会議を設定し、作成している	・アセスメントが適切または十分かどうかの不安はあり、定期的なスーパーバイズがあると良いと感じる		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・計画書作成のためのミーティングを実施し、その中で全員がお子さんの特性を理解した上で、支援のあり方を検討するなど、お子さんの最善の利益を考慮できていると感じる			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・計画書は職員間で回覧し共有している ・支援を考える際は、計画書を参考にしつつも、今のお子さんの姿に最適な支援を行っていると感じる	・計画書は共有されているが、活動ごとに計画と合わせた個々の目標は確認はされていないので、プログラムミーティングの際に確認するなど工夫できると良い(プログラムミーティング用のファイルをクラスごとに作り、そのファイルに計画書も綴じて確認するなど)		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	3	・発達検査などのフォーマルなアセスメントや、保護者からの聞き取りなどインフォーマルのアセスメントなどが実施されている	・現在行っているアセスメントが、アセスメントの活用として十分であるかには不安があり、より検討が昼等であると感じる		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」を考慮された支援がされている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・プログラムミーティングが実施されている ・室長、児発管と一緒に確認、検討する場を設定している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・以前にも実施したプログラムと同じプログラムをする際は、繰り返す意味を明確にし、課題設定を変えて実施するなどの工夫がなされている ・クラスの様子に合わせて取り組み方法の工夫をしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・自由場面等の個別の様子や、活動等の集団場面の様子を考慮し、支援が行われている ・手順書等を確認しながら取り組む机上活動は個別性を重視しているが、作ったもので遊ぶなど集団性の要素を加えるなど、クラスに合わせて取り組んでいる	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・前日、当日に担任間で打ち合わせを行い、準備などの役割を確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・必ず当日中に振り返りのミーティングを実施し、支援につなげている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・個人記録を取っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・定期面談を合わせて実施している ・計画相談員によって行われたモニタリング結果についても、適宜共有していただき、計画書や日々の支援に反映している 定期面談と合わせて実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・担任や児発管、室長などお子さんと日々関わり、理解しているスタッフが参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・幼稚園や保育園など、お子さんが所属している地域集団には、園訪問や電話等でお子さんの様子や課題、支援の在り方を共有するなど連携している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	・園訪問や電話等でお子さんの様子や課題、支援の在り方を共有するなど連携している ・訪問した際には、その後一定期間後に電話でやりとりし、事後の様子や支援状況の聞き取りを実施している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	・区内の公立小を中心に、希望児については引継ぎを実施している	・引継ぎを実施しているが、適切な時期に行われているとは言い難い場合もある
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	2	2	・お子さん一人一人については、必要に応じて連携している ・要配慮児研修など、地域の他機関や幼保の先生向けの研修が所内で行われる際には、事業所の説明や見学に対応するなどしている	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	1	・児発管や室長が療育に参加した際は、必然的にアドバイスを受けている	・保育士以外の職種や外部からのスーパーバイズなどは少ない
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	3	1		・参加できていない ・療育提供との兼ね合いについて検討が必要である
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	4		・児童発達支援センター内の事業所でもあるため、必要時情報共有は行っているが、スーパーバイズなどはない
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		・研修として地域の幼保等へ行く機会があればよいが、療育提供との兼ね合いについて検討が必要である	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・日々の声かけや連絡ノート等で、お子さんの状況やご家族の状況を把握するように努めている		

保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	・保護者向けの勉強会を実施したり、別室参加にて懇談の場を設けるなどしている ・おすすめの参考図書の紹介をしている	・より充実した回数や内容について、今後も検討していけると良い
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	・重要事項説明会や年度当初のオリエンテーションで説明している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・作成にあたっては、お子さん自身の意向について聞き取りを行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	・児童発達支援計画の案を元に面談を行い、保護者の同意を得た上で発行している	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・定期的な臨時面談の他、必要に合わせて適宜臨時面談も実施している	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	・以前事業所を利用されていた保護者のお話を聞く会を開催している ・以前事業所を利用されていた保護者の自主的な保護者会をご案内している	・きょうだい児の交流や支援を行う場の設定には至っておらず、きょうだい児支援のあり方については検討が必要である
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・ご相談事がある際には、担任のみならず、児発管や室長にも声をかけていただくよう周知しており、ご相談事が等がった際には、適宜極力迅速に対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・毎月クラス通信を発行している ・緊急時の連絡が迅速に配信できるように、今年度からは「マチコミ」の活用も導入した	・現在利用している配信アプリは、施設側からの一方通行の発信の設定となっており、双方向で連絡が簡便になる方法については、費用やセキュリティ面にも考慮しながら検討できると良いと思われる
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		・コロナ禍以降、地域に開かれた行事を開催できていないため、今後事業所としてだけでなく、センター全体としての検討が必要である
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	・防災訓練並びに防犯訓練を実施している	・訓練の振り返りを共有するだけでなく、振り返りを活かした実践訓練を短期間内に行けると良いと考える
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・BCPは定期的に見直しをしている	・不審者対応やAEDの訓練など必要な訓練も実施されていますが、有事に活かせるようにより主体的に参加できるような訓練の検討が必要である
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	・ご利用開始前に、医療情報・健康状態についてのアンケートを保護者に退出していただき、必要時に職員間でも対応について確認している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	・食物アレルギーのあるお子さんに関しては、医師の指示書を提出していただいている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		・安全管理は行っているが、有事の際に、実際どれくらい職員が当事者意識で行動できるのかは不明であり、より意識的な訓練や意識の向上が必要である
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		・保護者に伝えている内容が十分であるかについては検討が必要である
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・事業所内で発生したことに限らず、所内で発生したヒヤリハット事案については、課内の会議等で共有されている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・虐待・差別・身体拘束に関する研修を実施している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	・身体拘束をともなう対応が必要な場合は、計画書に記載するようになっている ・年度初めや必要時にクラスごとに方針等を検討するミーティングを行い、お子さんへの対応について検討・共有がなされている	

事業所名 地域療育センターあおば こども支援室

公表日 2025年 3月 31日

利用児童数 2024年 12月 20日 回収数 38

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32 84.2%	5 13.2%	1 2.6%	0	・広すぎず狭すぎずちょうどよいと思います ・体を大きく動かすような外遊びも取り入れてほしい ・教室がもう少し広いほうがいいのではないかと思うのですが、特性にとってはこのサイズ感が程よい、ということなのでしょうかね？ ・教室内の遊びスペースが少し狭く感じています	どちらともいえない(13.2%)、いいえ(2.6%)と感じておられる方が15.8%に上りました。 療育室そのものを広くすることはできませんが、安全性に配慮した室内の配置の工夫について検討し、プログラム提供に支障がないようにしていきたいと思えます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29 76.3%	7 18.4%	2 5.3%	0	・先生方の負担が少なくなるようにしてほしい ・それぞれその日の子どもの状態によるのかなと思います ・子ども達が落ち着いていければいいのだが、そうでない時が2人体制の先生でカバー出来ないような感じる ・先生方がお休みなどがあることで、休室になったり別室参観がモニター参観に変更になったり、また、振り返りが少なくなっていたりと、仕方がないことは思っていますが、貴重な機会を逃してしまっている頻度が高い印象が拭えませんが ・サブの先生がいてくださるので、手が行き届いている	どちらともいえない(18.4%)、いいえ(5.3%)と感じておられる方が23.7%に上りました。今年度は、職員のお休みが重なり、大変ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。 活動内容やコンディションによって、全体の活動に参加しづらいお子さんが安心して過ごせる個別スペースの活用など、環境調整を工夫していきたいと思えます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36 94.7%	2 5.3%	0	0	・必要最低限の情報で伝わりやすいと感じます ・必要以外の情報が入らないようになっていたり、セパレーションで部屋が分かれていたり、とても工夫されていると思う。	今後も、お子さんにとってのわかりやすさ、過ごしやすさを考えた環境作りを努めたいと思えます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37 97.4%	1 2.6%	0	0	・清掃のスタッフの方と思われる方がいつも丁寧に掃除してくれていてありがたい ・こども用トイレの便器が2つあるのにこども用スリッパが1つしかない点は、改善されると良いと思います。クラス開始前のトイレタイムで時間が重なるため、少し気になっています ・いつもとても清潔で、気持ちよく過ごせる環境だと思う	トイレのスリッパについては、ご不便をおかけし、申し訳ありませんでした。スリッパの取り扱いについて、検討いたします。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32 94.1%	1 3.0%	0	1 3.0%	・職員の方がとても専門性が高く、何かあると直ぐに相談ののってくださるので、悩みなどができるとアドバイス下さったり、日々の生活に繋がる	お子さんについて、保護者の皆さまと共に考え、関わっていきたくと考えております。今後も何なりとご相談ください。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24 70.6%	3 8.8%	0	7 20.6%		どちらともいえない(8.8%)、いいえ(20.6%)と感じておられる方が29.4%に上りました支援プログラムの公表が、今年度義務化されたため、今年度末に公表予定です。お待たせし、申し訳ありません。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	33 97.1%	1 2.9%	0	0	・その都度その都度の子どもの困り事に一緒に目を向けてくださるので、とても有難いですし、課題が見えてきたり、どのようなサポートをしていくべきか、いつも考えさせてもらう良い機会にもなっています	お子さんについて、ご家庭での様子や、保護者の皆さまが気になられていることなども含めて考えていくことが大切だと考えております。気になる事がありましたら、いつでも教えてください。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32 94.1%	1 3.0%	0	1 3.0%		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33 97.1%	1 2.9%	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31 91.2%	3 8.8%	0	0	・様々な角度からアプローチをして下さったり、生活していく上で自信に繋がる活動をして下さってると思う	お子さんたちが、楽しく様々な経験をさせていただけるよう、引き続き工夫してまいります。

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20 58.8%	5 14.7%	4 11.8%	5 14.7%		どちらともいえない (14.7%)、いいえ (11.8%) と感じておられる方が26.5%に上りました。 事業所単体としてだけでなく、地域に関わられた児童発達支援センターの在り方について検討してまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32 94.1%	2 5.9%	0	0	・説明会が行われ、そちらできちんと説明がありました	説明会やオリエンテーションは、お伝えする内容が多くなりがちなので、今後わかりやすさを目指していきたいとお見ます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34 100%	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26 76.5%	7 20.6%	0	1 2.9%		どちらともいえないと感じておられる方が20.6%に上りました。 保護者を対象とした既存の講座についての情報提供をより徹底すると共に、事業所としても保護者の皆様のニーズにより即した企画を検討してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30 88.2%	4 11.8%	0	0	・悩みや対応仕方を相談できて心強いです ・いつも親身に相談にのってくださり、困り事、のびてきた所を共有できていると思う	いつも日常の様子を教えていただきありがとうございます。ご相談事だけでなく、お子さまの成長された面を知ることができることは、私たちにとってもとても助みになっています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33 97.1%	0	0	1 2.9%	・いつも相談に乗ってくださって、本当に助かっています ・毎回毎回時間を掛けて、丁寧かつ適切な助言に助けられています	面談の時間は限られてしまいますが、有意義な時間となるよう努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31 91.2%	2 5.9%	0	1 2.9%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20 58.8%	4 11.8%	3 8.8%	7 20.6%	・きょうだい向けのイベントがしばしばなかったので今年開催されて良かったです ・きょうだいへの支援とは何をさすのかわからないし、実施されていないように思う	どちらともいえない (11.8%)、いいえ (8.8%) と感じておられる方が20.6%に上りました。 ごきょうだいへの支援については、個別性も高いため、個々のご家族状況に合わせて支援を検討してまいります。ごきょうだいのことで何かご心配なことがありましたら、いつでもご相談ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30 88.2%	2 5.9%	0	2 2.9%		どちらともいえない (5.9%)、わからない (2.9%) と感じておられる方が8.8%に上りました。 何かご相談がある際にはお声掛けいただいたり、連絡ノートに記載していただくことを推奨しておりますが、その周知が不十分だったのかと思われる。今一度周知の在り方について検討してまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31 91.2%	3 8.8%	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28 82.4%	2 5.8%	0	4 11.8%		どちらともいえない (5.8%)、わからない (11.8%) と感じておられる方が17.6%に上りました。 毎年行っている自己評価はセンターのHPに掲載しております。また、事業所やクラスからのご連絡は配信アプリを用いて配信しておりますが、より皆様にわかりやすい情報配信やその共有について検討してまいります。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30 88.2%	3 8.8%	0	1 3.0%		どちらともいえない (8.8%)、わからない (3.0%) と感じておられる方が11.8%に上りました。 引き続き、個人情報の取り扱いについては十分留意し、安心して事業所をご利用いただけるよう努めます。	
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31 81.6%	5 13.2%	0	2 5.2%	・自分で情報を集めにくいと変更点など気が付かないことがありました	どちらともいえない (13.2%)、わからない (5.2%) と感じておられる方が18.4%に上りました。 情報の周知が徹底できておらず、申し訳ありませんでした。よりわかりやすく、いつでもご確認いただけるよう、マニュアルの整備や掲示を工夫してまいります。	

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34 89.5%	0	1 2.6%	3 7.9%	いいえ (2.6%)、わからない (7.9%) と感じておられる方が10.5%に上りました。 定期的な訓練を実施しておりますが、実際にお子さんに避難経路を通過して避難していただく訓練は各クラス1回のため、当日欠席されたお子さんには機会を提供できずにおりました。今後は、よりお子さんに災害時の行動を身につけていただけるよう、プログラムを見直し実践してまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36 94.7%	2 5.3%	0	0	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31 81.6%	2 5.2%	0	5 13.2%	・年初のレクリエーションでは非常時対応の説明があったかもしれないが、特に親子避難訓練もないので、非常時対応がよくわかっていない どちらともいえない (5.2%)、わからない (13.2%) と感じておられる方が18.4%に上りました。 年度当初のみの周知をなっていたため、今後は定期的にお伝えできるようしていきたいと思っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	36 94.7%	2 5.3%	0	0	・毎回保護者同伴なので、特に安心感があるかと思えます ・とても楽しみに、楽しく通園しているのびのび遊んでいる姿がある ・先生の変更が多いと戸惑いが見られる 担任変更につきましては、ご迷惑をおかけし大変申し訳ありませんでした。今後もお子さんに安心して通所していただけるよう、支援してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	35 92.1%	3 7.9%	0	0	・登園渋りはありますが、来ると楽しそうです ・一週間の中で一番好きな時間だそうです ・次回の活動の話をしたり、毎週木曜日(かえでの日)をとても待ち遠しく思っている
	29	事業所の支援に満足していますか。	37 97.4%	0	0	1 2.6%	・いつも先生方に支援いただいているおかげで、自己肯定感・効力感がとても伸びていると感じます。温かいご支援本当にありがとうございます！引き続きよろしくお願いたします！ ・事業所の活動や内容は満足しています。発達に関係なく食は身体を作る源だと思いますが、おやつタイムのスナック菓子、ジュースが毎回配られる事に驚いています。時間内に配りやすく、こぼれなようにペットボトル等の考慮した結果なのかなと思いますが、あえてスナック菓子やペットボトル飲料で出さなくてもいいと思います。食に関してはあまり配慮されてないと感じています ・かえでクラスに通えて子供は少しなりとも自信がついたのではないかと思います。送迎は大変ですが、通えてよかったです ・外での活動や長い時間の日があると尚有難い ・おやつ提供について 配膳の練習や当番といった生活面や、要求等のコミュニケーション面に加え、食動作等を把握する貴重な場面として実施させていただいておりますが、提供する食材等については、引き続き検討してまいります。 ・外での活動について 限られた療育時間の中で、当日の天候による支障の少ないプログラムという視点で、外での活動の可否も合わせて検討してまいります。 ・時間の延長について 就労されているご家庭の増加や、ごきょうだいの預け先等も関わってくる事柄であると思われれますので、様々な側面から検討してまいります。 お忙しい中でのアンケートへのご協力と、様々なご意見をいただき、本当にありがとうございました。いただいたご意見を参考にさせていただき、より安心してご利用いただける事業所運営を心がけてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。